

栗谷ツ遺跡 第54地点

遺跡名	栗谷ツ遺跡
よみがな	くりやついせき
調査地点	第54地点
主な時代	平安時代
調査地	富士見市水子 4962-1、4963-1、4961-1 の一部
調査面積	452.63 m ²
調査期間	平成30年9月10日～9月27日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 縄文時代の集石2基、平安時代の竪穴住居跡2軒、土坑</p> <p>【出土した主な遺物】 平安時代の須恵器坏、土師器甕</p> <p>【概要】 栗谷ツ遺跡は、柳瀬川を臨む武蔵野台地縁辺に立地し、南側は細長い小支谷に面しています。</p> <p>これまでの調査により、旧石器時代、縄文時代早期、中期～後期、弥生時代後期～古墳時代前期初頭、平安時代の遺構や遺物が多数確認されています。特に平安時代では40軒以上の竪穴住居跡や窯跡が検出されています。</p> <p>今回の調査では、平安時代の住居跡が2軒確認され、当該期の集落がかなりの規模で、繁栄していたことが伺えます。</p>



平安時代の竪穴住居跡



床面から検出された炭化した萱材



出土した須恵器の坏



縄文時代の集石